

# 『一心千里』

走って行けば、  
見えてくる

永田隆一



第21回

2011年3月11日の

大震災・大津波、日本という国の「こころの持ち方、価値観そのもの」をオールリセットして大きく変えました。いや、それ以上の衝撃がありました。

あ、ここには豊かな人生がある……。磯の香りを運ぶ海風は今でも憶えており、私の心象風景の

かつて中国の四川省で地震が発生した際、8万人が亡くなりました。台湾中部の日月潭を震源

られました。

政府は、阪神淡路大震災の時は自衛隊を活用しませんでした。今回は5万人を投入し、10万人を増員させました。さらに、自衛官を退官した人を対象に予備自衛官の召集を決定しました。被害が広範囲に及んでいることが原因のひとつですが、このことだけでも

計画停電の実施と節電の取り組みにより、製造業の操業が大きく制約されており。人々は、早めに家路につきませう。暗い新宿歌舞伎町、銀座、六本木は、飲食店へのダメージも甚大であります。

諸外国からの義援金の多いこと、企業や著名人からの寄付や物資の配送支援……。また、ボランティアの方々も続々と東日本を目指して集結されており。『愛は行動』であります。

国と国民を救います。そして現在、大学既卒者の10万人が就職活動をしており。この方たちを国が採用して、復旧活動に当たってもらうことも検討すべきであります。海外からのボランティアの方たちとチームを組む。リーダーは既卒者の日本人。また、省庁・政府の一機関を迅速に60日地域へ移すことも効果的です。東京一極集中による電力不足を解消できる奇策であります。

## 3・11の大地震、ただ言葉を失う

残された私たちの使命を考える

《あらためて想う》

人を元気づける方法は2通りあると聞いたことがあります。1つは、大丈夫だ、「朝がこない夜はない」と励ます方法。そしてもう1つは、ただ手を握り合っただけでいい方法です。今回の震災は、間違いなく後者であります。あと、復興支援の行動あるのみです。あらためてそのように想います。合掌。

《愛は行動》

筆者の周りでは、あの地震から一度も暖房を使用していない人達が多いです。あまり利用しない自家用車を廃車にされた方々もおられます。

《経済的損失》

阪神淡路大震災のときの経済的損失は10兆円と公表されており、今回は16兆〜20兆円と国は予想を発表しておりますが、間違いなくそれを大きく上回ることになり。今回は、電力の不足が加わっているからです。

《提案・アイデア》

まずは資金が必要で。政府は、国債や消費税、所得税で賄おうとして

《大震災の前では無力》

大切なひとつであり。しかし、テレビの画面では、大津波が大きなエネルギーを持ち、私の心象風景の海岸線のみ込んでいく惨状を何度も繰り返し映し出しています。「ただ言葉を失う」としか表現のしようのない気持ちでありました。

《大自然の前では無力》

力があります。痛感させ

《心象風景》

長崎で生まれて福岡で育った私は、20代半ばに半導体製造装置のエンジニアとして岩手県北上市に約2年住んでおりました。休日にはリアス式のもとも美しい海岸線をドライブしました。釜石、大船渡、気仙沼、盛……。漁師町の気さくなおじさん・おばさんと食堂や縄のれんの飲み屋で、酒を酌み交わし、すてきな時間を過ごしました。「あ

《毎月掲載》

（毎月掲載）